

# 第67回

## 定 時 株 主 総 会 招 集 ご 通 知

### 日 時

2018年12月21日(金曜日)

午前10時

### 場 所

名古屋市中区正木三丁目7番15号

金山プラザホテル

(名古屋金山研修センター・ゼミナールプラザ4階会議室)

### 議 案

第1号議案 定款一部変更の件

第2号議案 取締役

(監査等委員である取締役を除く。)

4名選任の件

第3号議案 監査等委員である

取締役1名選任の件

第4号議案 会計監査人選任の件

|    |                    |
|----|--------------------|
| 1  | ご挨拶                |
| 2  | 招集ご通知              |
| 3  | 議決権の行使についてのご案内     |
| 5  | 株主総会参考書類<br>(添付書類) |
| 12 | 事業報告               |
| 29 | 連結計算書類             |
| 38 | 計算書類               |
| 46 | 監査報告書              |
| 52 | その他                |
| 巻末 | 経営理念               |

# 株主の皆様へ

## ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第67回定時株主総会を2018年12月21日(金曜日)に開催いたしますので、ここに招集ご通知をお届けいたします。株主総会の議案および当社第67期の事業の概況につきまして記載しておりますので、ご覧くださいませようお願い申し上げます。

当社は、主軸である肥料事業では「農」に関わる方々のよきパートナーとなる事を、また、第2の柱である不動産事業では皆様の生活に役立つ形で保有資産を活用する事を基本的な方針としております。子会社においては、商社事業、運送事業、倉庫事業を多角的に展開しており、グループの経営資源を有効活用しながら、利益重視の経営を推進しております。

今後も、より良い社会の実現に貢献してまいりますとともに、一層の企業価値向上へ向け、グループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年12月  
代表取締役社長 **渡 邊 要**

証券コード 4033  
2018年12月5日

株 主 各 位

名古屋市港区いろは町1丁目23番地

**日東エフシー株式会社**

代表取締役社長 渡 邊 要

## 第67回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第67回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面またはインターネットによって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいます。2018年12月20日（木曜日）午後5時20分までに議決権を行使いただきたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2018年12月21日（金曜日）午前10時
2. 場 所 名古屋市中区正木三丁目7番15号  
金山プラザホテル  
（名古屋金山研修センター・ゼミナールプラザ4階会議室）
3. 会議の目的事項  
報 告 事 項
  1. 第67期（2017年10月1日から2018年9月30日まで）事業報告、連結計算書類及び計算書類報告の件
  2. 会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件  
決 議 事 項
  - 第1号議案 定款一部変更の件
  - 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件
  - 第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件
  - 第4号議案 会計監査人選任の件

以 上

- 
1. 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付へご提出ください。また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。
  2. 株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.nittofc.co.jp/>）に掲載させていただきます。

## 議決権の行使についてのご案内

### 株主総会に当日ご出席いただく場合



**株主総会開催日時** 2018年12月21日（金曜日）午前10時

（受付開始時刻は午前9時、開場時刻は午前9時30分とさせていただきます。）

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

また、本定時株主総会招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

※代理人により議決権を行使される場合は、当社定款に従い、議決権を有する当社の他の株主さま1名を代理人として、その議決権を行使することとさせていただきます。なお、その際は代理権を証明する書面（委任状）を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

### 株主総会にご出席いただけない場合



○ 書面（議決権行使書用紙）により議決権を行使される場合

**行 使 期 限** 2018年12月20日（木曜日）午後5時20分到着分まで

同封の議決権行使書用紙に各議案に対する賛否をご表示いただき、ご返送ください。



○ インターネットにより議決権を行使される場合

**行 使 期 限** 2018年12月20日（木曜日）午後5時20分まで

インターネットにより議決権行使ウェブサイト ● <https://www.web54.net> にアクセスしていただき、同封の議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」および「パスワード」をご利用のうえ、画面の案内に従って、各議案に対する賛否をご入力ください。

詳細につきましては、「インターネットによる議決権行使のご案内」（4ページ）に記載の内容をご確認ください。



議案及び参考事項

第1号議案 定款一部変更の件

1. 提案の理由

インターネットの普及に鑑み、法務省令に定めるところに従い、株主総会参考書類等をインターネットで開示することにより、みなし提供できるよう変更案第18条（株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供）を新設するとともに、条文の新設に伴う条数の繰り下げを行うものであります。

2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

（変更部分には下線を付しております。）

| 現行定款            | 変更案                                                                                                                                      |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | <u>（株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供）</u>                                                                                                       |
| （新設）            | 第18条 当社は、株主総会の招集に際し、株主総会参考書類、事業報告、計算書類及び連結計算書類に記載又は表示をすべき事項に係る情報を、 <u>法務省令に定めるところに従いインターネットを利用する方法で開示することにより、株主に対して提供したものとみなすことができる。</u> |
| 第18条～第35条（条文省略） | 第19条～第36条（現行どおり）                                                                                                                         |

## 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

本総会終結の時をもって、現取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名全員が任期満了となりますので、あらためて取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名の選任をお願いします。なお、取締役候補者の選任については、社外取締役が過半数を占める任意の指名報酬委員会における審議を経て、取締役会で決議されたものであります。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者は次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 候補者氏名             |                   |           | 現在の当社における地位、担当   |
|-----------|-------------------|-------------------|-----------|------------------|
| 1         | わたなべ<br><b>渡邊</b> | かなめ<br><b>要</b>   | <b>再任</b> | 代表取締役社長          |
| 2         | みずたに<br><b>水谷</b> | いさむ<br><b>勇</b>   | <b>再任</b> | 常務取締役<br>不動産事業部長 |
| 3         | ごとう<br><b>後藤</b>  | まさゆき<br><b>正幸</b> | <b>再任</b> | 常務取締役<br>管理本部長   |
| 4         | おだ<br><b>小田</b>   | たつや<br><b>達也</b>  | <b>再任</b> | 取締役<br>製造本部長     |

候補者  
番号

1

わた なべ  
**渡 邊**

**再任**

1949年2月25日生

所有する当社株式の数  
872,860株

取締役会への出席状況  
12回／12回（100％）

かなめ  
**要**

略歴、重要な兼職の状況、当社における地位及び担当

1973年8月 当社入社  
1982年11月 当社関東北事業部長  
1982年11月 当社取締役  
1985年11月 当社常務取締役  
1986年12月 当社専務取締役  
1989年12月 当社取締役副社長  
1991年9月 丸菱肥料株式会社  
代表取締役  
1991年9月 新東化学工業株式会社  
代表取締役  
1993年12月 中日本肥料株式会社  
代表取締役  
1993年12月 当社代表取締役社長（現任）  
2003年6月 明京商事株式会社  
代表取締役

**〔取締役候補者とした理由〕**

渡邊要氏は、当社創業者である故渡邊金康氏の長男であります。当社代表取締役として長年にわたり経営全般に携わり、経営者としての豊富な経験や強いリーダーシップを有しており、当社の持続的な企業価値向上実現のため、引き続き取締役とすることが適当と判断し、選任をお願いするものであります。

候補者  
番号

2

みず たに  
**水 谷**

**再任**

1954年10月17日生

所有する当社株式の数  
9,313株

取締役会への出席状況  
12回／12回（100％）

いさむ  
**勇**

略歴、重要な兼職の状況、当社における地位及び担当

1978年6月 当社入社  
2001年9月 当社不動産事業部長（現任）  
2007年11月 日東運輸倉庫株式会社  
代表取締役（現任）  
2007年12月 当社取締役  
2011年12月 当社常務取締役（現任）  
2018年11月 名京倉庫株式会社  
代表取締役（現任）

**〔取締役候補者とした理由〕**

水谷勇氏は、当社における不動産事業部門責任者としての豊富な経験を有しており、当社の業務に精通しております。また取締役就任以来、経営の重要事項の決定及び業務執行の監督等の役割を適切に果たしております。このような実績を踏まえ、引き続き取締役とすることが適当と判断し、選任をお願いするものであります。

候補者  
番号

3

ごとうまさゆき  
後藤正幸

再任

1968年3月9日生

所有する当社株式の数  
7,472株

取締役会への出席状況  
12回／12回（100%）

略歴、重要な兼職の状況、当社における地位及び担当

1993年4月 当社入社  
2008年2月 当社企画室長  
2009年10月 当社経営企画部長  
2015年12月 当社取締役  
2017年2月 当社管理本部長（現任）  
2017年10月 当社常務取締役（現任）

〔取締役候補者とした理由〕

後藤正幸氏は、当社における管理部門責任者としての豊富な経験を有しております。また取締役役に就任以来、経営の重要事項の決定及び業務執行の監督等の役割を適切に果たしております。このような実績を踏まえ、引き続き取締役とすることが適当と判断し、選任をお願いするものであります。

候補者  
番号

4

おだたつや  
小田達也

再任

1957年1月6日生

所有する当社株式の数  
1,038株

取締役会への出席状況  
10回／10回（100%）

略歴、重要な兼職の状況、当社における地位及び担当

1981年4月 日立化成工業株式会社（現日立化成株式会社）入社  
2001年7月 同社事業所・品質保証部部长  
2011年1月 同社品質保証部部长  
2017年4月 当社入社  
2017年4月 当社製造本部長（現任）  
2017年12月 当社取締役（現任）

〔取締役候補者とした理由〕

小田達也氏は、長年にわたる上場事業会社品質管理部門の指導的な立場での豊富な業務経験を有しております。また取締役役に就任以来、経営の重要事項の決定及び業務執行の監督等の役割を適切に果たしております。このような実績を踏まえ、引き続き取締役とすることが適当と判断し、選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 監査等委員会は、監査等委員を除く取締役候補者について適切な手続によって人選されており、それぞれの候補者は適任であると判断しております。
3. 「所有する当社株式の数」については、当社役員持株会における本人の持分株式数を含めております。
4. 取締役会については、各候補者の取締役会の出席回数及び出席率において記載している開催回数のほか、会社法第370条及び当社定款第27条の規定に基づき、取締役会の決議があったものとみなす書面決議が2回ありました。

### 第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件

本総会終結の時をもって、現監査等委員である取締役岩田香織氏が任期満了となりますので、あらためて監査等委員である取締役1名の選任をお願いします。

なお、本議案に関しましては、監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は次のとおりであります。

いわ た か おり  
**岩 田 香 織**

(現姓：福永)

**再 任** **社 外** **独 立**

1976年4月23日生

所有する当社株式の数  
一株

取締役会への出席状況  
12回／12回 (100%)

監査等委員会への出席状況  
12回／12回 (100%)

略歴、重要な兼職の状況、当社における地位及び担当

2001年10月 弁護士登録  
2001年10月 辻巻総合法律事務所入所 (現任)  
2016年12月 当社取締役(監査等委員) (現任)

#### 〔社外取締役候補者とした理由〕

岩田香織氏につきましては、長年にわたる弁護士として培われた知識と豊富な経験を有しており、社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、候補者といいたしました。

なお、同氏は直接企業経営に関与した経験はありませんが、上記理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行できると判断しております。同氏が監査等委員である社外取締役に就任してからの年数は本総会終結の時をもって2年であります。

- (注) 1. 候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 岩田香織氏は、社外取締役候補者であります。同氏の選任をご承認いただいた場合、引き続き東京証券取引所及び名古屋証券取引所の定めに基づく独立役員（社外取締役）として指定する予定であります。
3. 岩田香織氏の選任をご承認いただいた場合、当社と同氏との間で現在締結している責任限定契約を継続する予定であります。当該責任限定契約の内容は、会社法第423条第1項の責任について、善意でかつ重大な過失がないときは、法令に定める額を負担の限度額とするというものであります。
4. 取締役会については、候補者の取締役会への出席回数及び出席率において記載している開催回数のほか、会社法第370条及び当社定款第27条の規定に基づき、取締役会の決議があったものとみなす書面決議が2回ありました。

#### 第4号議案 会計監査人選任の件

会計監査人有限責任監査法人トーマツは、本総会終結の時をもって任期満了により退任されますので、監査等委員会の決定に基づき、仰星監査法人を会計監査人に選任することにつきご承認をお願いするものであります。

なお、監査等委員会が仰星監査法人を会計監査人の候補者とした理由は、会計監査人に必要とされる専門性、独立性及び品質管理体制等を総合的に勘案した結果、当社の会計監査人として適任と判断したためであります。

会計監査人候補者は、次のとおりであります。

|      |                                                                                              |                              |                     |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------|
| 名称   | 仰星監査法人                                                                                       |                              |                     |
| 事務所  | 〈主たる事務所〉<br>東京都千代田区九段南三丁目3番6号麹町ビル                                                            |                              |                     |
|      | 〈従たる事務所〉<br>大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビルディング<br>名古屋市中村区名駅四丁目4番10号名古屋クロスコートタワー<br>石川県金沢市兼六元町11番25号 |                              |                     |
| 沿革   | 1990年9月                                                                                      | 北斗監査法人設立                     |                     |
|      | 1999年10月                                                                                     | 東京赤坂監査法人と合併し、東京北斗監査法人に名称を変更  |                     |
|      | 2006年10月                                                                                     | 監査法人芹沢会計事務所と合併し、仰星監査法人に名称を変更 |                     |
|      | 2011年7月                                                                                      | 明澄監査法人と合併                    |                     |
|      | 2014年7月                                                                                      | 明和監査法人と合併<br>現在に至る           |                     |
| 概要   | 出資金                                                                                          | 161百万円                       | (2018年10月末日現在)      |
|      | 構成人員                                                                                         | 社員 (公認会計士)                   | 46名                 |
|      |                                                                                              | (うち代表社員                      | 11名)                |
|      | 職員                                                                                           | (公認会計士)                      | 158名                |
|      |                                                                                              | (公認会計士試験合格者)                 | 41名                 |
|      |                                                                                              | (その他の職員)                     | 33名                 |
|      | 合計                                                                                           |                              | 278名 (2018年10月末日現在) |
| 国際業務 | 関与会社                                                                                         |                              | 302社 (2018年7月末日現在)  |
|      | Nexia International (ネクシア・インターナショナル) に加盟                                                     |                              |                     |

以 上

## 第67期(2017年度)連結経営成績

売上高

**16,433**百万円  
(前期比 0.3%増)

営業利益

**1,250**百万円  
(前期比 21.0%減)

経常利益

**1,370**百万円  
(前期比 34.7%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

**986**百万円  
(前期は618百万円の損失)

### セグメント別売上高

肥料事業

**10,681**百万円  
(前期比 2.4%増)

商社事業

**3,963**百万円  
(前期比 0.4%増)

不動産賃貸事業

**1,307**百万円  
(前期比 15.1%減)

その他事業

**717**百万円  
(前期比 0.6%減)

不動産賃貸事業

7.4%

その他事業

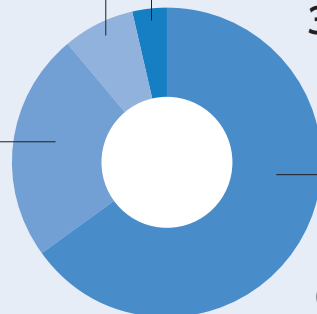
3.6%

商社事業

24.0%

肥料事業

65.0%



## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用情勢の改善を背景に、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の保護主義政策による貿易摩擦の懸念や、相次ぐ自然災害によるリスクの顕在化など、先行きが見通せない状況が続いております。

肥料業界におきましては、肥料価格の下落傾向は一旦落ち着きを見せたものの、2016年に政府が発表した「農業競争力強化プログラム」に基づき、農林水産省が生産資材価格引き下げに向けた生産性向上への取り組みをメーカーに対して求めているほか、全国農業協同組合連合会（全農）において肥料の銘柄集約や入札制度による集中購買が実施されるなど、当社グループを取り巻く環境は大きく変化しております。

このような状況のもと、主力の肥料事業におきましては、稲作の負担を大きく軽減する、育苗を必要としない直播栽培専用の肥料など、農業生産の大きな課題に対応する製品を引き続き推進するとともに、農業生産者に適切な施肥方法や栽培管理の指導を行うなど、提案型の営業活動を進め、収益の確保に努めてまいりました。

商社事業におきましては、国際市況、国内需要動向や外国為替変動等を注視しつつ、顧客の多様なニーズに対応して受注の拡大に努めてまいりました。

不動産賃貸事業におきましては、名古屋市中区金山地区における物件の建替えや新築計画を推進するにあたり、一時的に収益は低下しているものの、将来の収益力強化・安定に向けた取り組みを図ってまいりました。

その他事業におきましては、ホテル・運送・倉庫の各部門とも稼働率や顧客サービスの向上等により収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当連結会計年度における連結売上高は164億33百万円（前期比0.3%増）、営業利益は12億50百万円（前期比21.0%減）となりました。経常利益は、デリバティブ評価益の減少などにより、13億70百万円（前期比34.7%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に発生した減損損失が当期は無かったため、9億86百万円（前期は6億18百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

## (2) 事業別の概況

### 事業区分別売上高

| 事業区分    | 期別<br>第 66 期<br>2017年9月期 | 第 67 期<br>(当連結会計年度)<br>2018年9月期 | 前期比増減 (△は減) |       |
|---------|--------------------------|---------------------------------|-------------|-------|
|         |                          |                                 | 金額          | 増減率   |
|         | 百万円                      | 百万円                             | 百万円         | %     |
| 肥料事業    | 10,431                   | 10,681                          | 250         | 2.4   |
| 商社事業    | 3,948                    | 3,963                           | 15          | 0.4   |
| 不動産賃貸事業 | 1,539                    | 1,307                           | △231        | △15.1 |
| その他事業   | 721                      | 717                             | △4          | △0.6  |
| 消去      | △253                     | △237                            | 16          | 6.4   |
| 合計      | 16,386                   | 16,433                          | 46          | 0.3   |

#### (肥料事業)

販売数量が若干ながら前期を上回り、販売価格はほぼ前期並みとなったため、売上高106億81百万円（前期比2.4%増）となりました。

#### (商社事業)

売上高は前期並みの、39億63百万円（前期比0.4%増）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

建替え予定のNFC金山駅前ビルからテナントが退去したことを主要因に、売上高13億7百万円（前期比15.1%減）となりました。

#### (その他事業)

ホテル・運送・倉庫の各事業ともに稼働率の改善に努めましたが、売上高7億17百万円（前期比0.6%減）となりました。

## (3) 設備投資及び資金調達の状況

当連結会計年度において実施いたしました設備投資の総額は、5億31百万円であり、全て自己資金をもって充当いたしました。

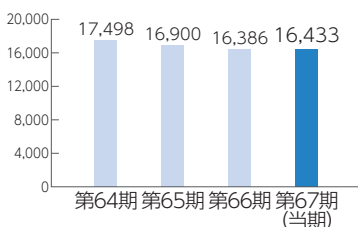
## (4) 財産及び損益の状況

### ①企業集団の財産及び損益の状況の推移

| 区分                                               | 期別    | 第 64 期<br>2015年9月期 | 第 65 期<br>2016年9月期 | 第 66 期<br>2017年9月期 | 第 67 期<br>(当連結会計年度)<br>2018年9月期 |
|--------------------------------------------------|-------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------------------|
| 売上高                                              | (百万円) | 17,498             | 16,900             | 16,386             | 16,433                          |
| 経常利益                                             | (百万円) | 2,338              | 522                | 2,096              | 1,370                           |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益又は<br>親会社株主に帰属<br>する当期純損失 (△) | (百万円) | 1,753              | 664                | △618               | 986                             |
| 1株当たり当期純利益又は<br>1株当たり当期純損失 (△)                   |       | 69円76銭             | 26円44銭             | △24円60銭            | 39円27銭                          |
| 総資産                                              | (百万円) | 46,318             | 45,395             | 44,145             | 44,886                          |
| 純資産                                              | (百万円) | 41,058             | 40,913             | 39,906             | 40,484                          |
| 1株当たり純資産額                                        |       | 1,633円76銭          | 1,627円98銭          | 1,587円91銭          | 1,610円91銭                       |
| 自己資本比率                                           |       | 88.6%              | 90.1%              | 90.4%              | 90.2%                           |

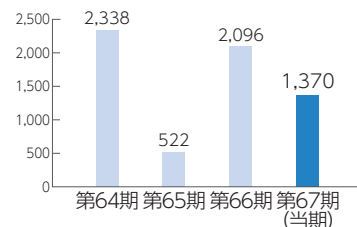
#### ■ 売上高

(単位：百万円)



#### ■ 経常利益

(単位：百万円)

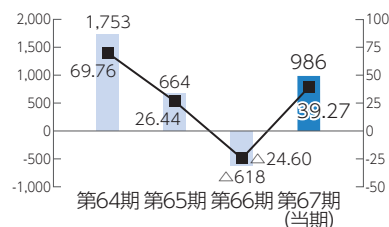


#### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失 (△)

(単位：百万円)

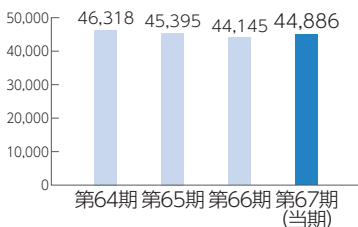
#### ■ 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)

(単位：円)



#### ■ 総資産

(単位：百万円)

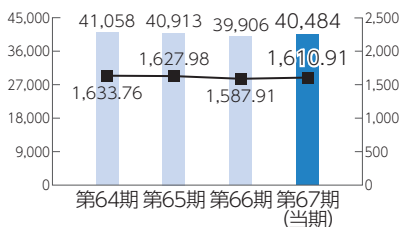


#### ■ 純資産

(単位：百万円)

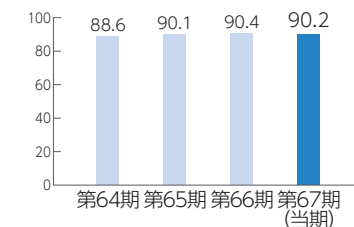
#### ■ 1株当たり純資産額

(単位：円)



#### ■ 自己資本比率

(単位：%)



②当社の財産及び損益の状況の推移

| 区分                             | 期別    | 第 64 期    | 第 65 期    | 第 66 期    | 第 67 期           |
|--------------------------------|-------|-----------|-----------|-----------|------------------|
|                                |       | 2015年9月期  | 2016年9月期  | 2017年9月期  | (当期)<br>2018年9月期 |
| 売上高                            | (百万円) | 12,503    | 12,552    | 11,307    | 11,999           |
| 経常利益                           | (百万円) | 1,994     | 1,154     | 1,480     | 950              |
| 当期純利益又は<br>当期純損失 (△)           | (百万円) | 1,633     | 1,232     | △862      | 747              |
| 1株当たり当期純利益又は<br>1株当たり当期純損失 (△) |       | 65円01銭    | 49円05銭    | △34円31銭   | 29円73銭           |
| 総資産                            | (百万円) | 41,281    | 40,849    | 38,790    | 39,638           |
| 純資産                            | (百万円) | 36,538    | 37,053    | 35,743    | 36,073           |
| 1株当たり純資産額                      |       | 1,453円91銭 | 1,474円40銭 | 1,422円26銭 | 1,435円39銭        |
| 自己資本比率                         |       | 88.5%     | 90.7%     | 92.1%     | 91.0%            |

## (5) 対処すべき課題

本年3月に米国を除く11カ国が署名した「包括的および先進的な環太平洋パートナーシップ協定（CPTPP、いわゆるTPP11）」により、我が国は一部の品目を除く農産物に対して関税の撤廃または減額がなされることとなり、国内農業を取り巻く環境は不透明感が増しております。これに対し、政府は「攻めの農業」実現に向けて「農業競争力強化プログラム」の着実な実施を掲げており、肥料製品価格の引き下げ圧力は今後も継続する見通しとなっております。

このような状況のもと、肥料事業におきましては、製造設備の改善・更新を通じて生産の効率性をさらに高め、安全と環境に配慮した適正な品質管理のもと、製造コストの低減を追求し、肥料の安定供給に努めてまいります。また、機械化やICTの活用が進む国内農業の変化を的確に把握し、確かな品質と経済性を備えた製品の拡売を目指してまいります。

商社事業におきましては、化学品部門、アグリ部門ともに、輸入元とこれまで培ってきた強固な信頼関係を生かし、国内需要家の多様なニーズに一層応えていくことで事業基盤の強化を図るとともに、新たな収益機会の創出を念頭に業容の拡大に努めてまいります。

不動産賃貸事業におきましては、名古屋市中区金山地区における再開発を着実に進めてまいりますとともに、今後も長期的展望に立って収益基盤の拡充と保有資産の適正な運用を目指してまいります。

また、その他事業におきましては、長期的視点での収益性の向上を図るため、各事業基盤の整備を進めてまいります。

さらなる事業の進展に向けて、グループ一丸となって努力する所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(6) 重要な子会社の状況 (2018年9月30日現在)

| 会社名        | 資本金    | 議決権比率   | 主要な事業内容     |
|------------|--------|---------|-------------|
| 協同肥料株式会社   | 310百万円 | 100.00% | 肥料の製造販売     |
| 北海道肥料株式会社  | 310    | 100.00  | 肥料の製造販売     |
| 中日本肥料株式会社  | 36     | 100.00  | 肥料の製造販売     |
| 丸菱肥料株式会社   | 20     | 100.00  | 肥料の製造販売     |
| 新東化学工業株式会社 | 11     | 100.00  | 肥料の製造販売     |
| 明京商事株式会社   | 60     | 100.00  | 肥料・化学品の輸入販売 |
| 日東運輸倉庫株式会社 | 40     | 100.00  | 一般貨物の運送     |
| 名京倉庫株式会社   | 30     | 100.00  | 一般貨物の保管荷役   |

(7) 主要な事業内容 (2018年9月30日現在)

| 事業区分    | 事業内容                                                                                                 |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 肥料事業    | 複合肥料 (化成肥料、配合肥料、ペレット肥料、液体肥料、水耕栽培専用肥料)<br>リン酸質肥料 (過りん酸石灰)<br>商品 (転売用原料)<br>その他 (土壌改良資材、融雪剤、人工床土、園芸資材) |
| 商社事業    | 肥料・工業用原材料等の輸入販売                                                                                      |
| 不動産賃貸事業 | オフィスビル、ショッピングセンター、倉庫、店舗、駐車場                                                                          |
| その他事業   | ホテル事業 (ビジネスホテルの運営)<br>運送事業 (肥料事業及び一般貨物の運送業務)<br>倉庫事業 (肥料事業及び一般貨物の保管・荷役業務)                            |

## (8) 主要な営業所及び工場（2018年9月30日現在）

### ① 当社

| 名称              | 所在地       |
|-----------------|-----------|
| 本社、名古屋営業所、名古屋工場 | 名古屋市港区    |
| 千葉支店、千葉工場       | 千葉県市原市    |
| 室蘭支店、室蘭工場       | 北海道室蘭市    |
| 苫小牧工場           | 北海道苫小牧市   |
| 天北工場            | 北海道天塩郡幌延町 |
| 金山プラザホテル        | 名古屋市中区    |

### ② 子会社

| 会社名        | 所在地       | 事業区分  |
|------------|-----------|-------|
| 協同肥料株式会社   | 名古屋市港区    | 肥料事業  |
| 北海道肥料株式会社  | 北海道室蘭市    | 肥料事業  |
| 明京商事株式会社   | 東京都千代田区   | 商社事業  |
| 日東運輸倉庫株式会社 | 名古屋市港区    | その他事業 |
| 名京倉庫株式会社   | 愛知県海部郡飛島村 | その他事業 |

(ご参考) 主要な営業所及び工場



## (9) 従業員の状況（2018年9月30日現在）

### ① 企業集団の従業員の状況

| 事業区分    | 従業員数 | 前期末比増減 |
|---------|------|--------|
| 肥料事業    | 259名 | 9名増    |
| 商社事業    | 13名  | 1名減    |
| 不動産賃貸事業 | 8名   | 1名減    |
| その他事業   | 28名  | 1名増    |
| 全社      | 34名  | 3名減    |
| 合計      | 342名 | 5名増    |

(注) 従業員数は就業人員数であり、臨時従業員49名（嘱託契約の従業員、パートタイマー及びアルバイトの年間平均人員）は含まれておりません。

### ② 当社の従業員の状況

| 区分     | 従業員数 | 前期末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|--------|------|--------|-------|--------|
| 男性     | 231名 | 6名増    | 38.2歳 | 14.5年  |
| 女性     | 43名  | 1名減    | 35.4歳 | 12.6年  |
| 合計又は平均 | 274名 | 5名増    | 37.7歳 | 14.2年  |

(注) 従業員数は就業人員数であり、他社への出向者14名、臨時従業員33名（嘱託契約の従業員、パートタイマー及びアルバイトの年間平均人員）は含まれておりません。

## 2. 会社の株式に関する事項 (2018年9月30日現在)

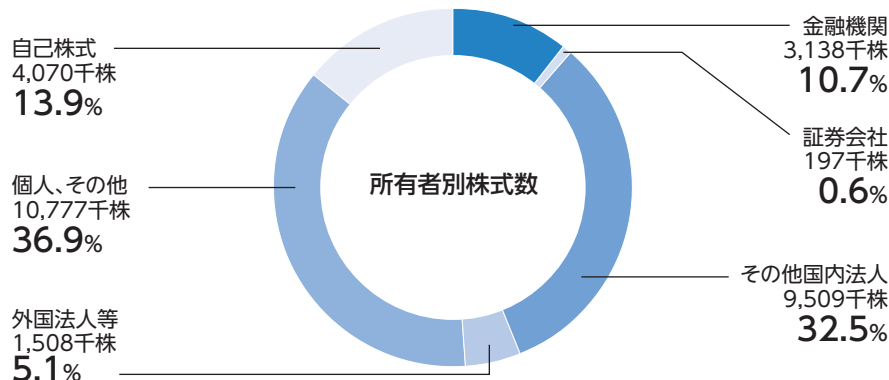
|              |                     |
|--------------|---------------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 60,000,000株         |
| (2) 発行済株式の総数 | 29,201,735株         |
|              | (うち自己株式 4,070,479株) |
| (3) 株主数      | 5,062名              |
|              | (前期末比1,049名増)       |

### (4) 大株主

| 株主名                     | 持株数     | 持株比率  |
|-------------------------|---------|-------|
| ワタカネルーツ株式会社             | 3,300千株 | 13.1% |
| 渡辺商事株式会社                | 2,016   | 8.0   |
| 東邦総合サービス株式会社            | 1,210   | 4.8   |
| 日本生命保険相互会社              | 970     | 3.8   |
| 渡邊 要                    | 872     | 3.4   |
| 渡邊浩史                    | 705     | 2.8   |
| 株式会社A. 1                | 585     | 2.3   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 571     | 2.2   |
| 三井物産株式会社                | 556     | 2.2   |
| 三井住友海上火災保険株式会社          | 533     | 2.1   |

- (注) 1. 持株比率は自己株式(4,070,479株)を控除して計算しております。  
2. 持株数については、当社役員持株会における本人の持分株式数を含めております。

### 〈ご参考〉



### 3. 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役の状況（2018年9月30日現在）

| 地位               | 氏名   | 担当及び重要な兼職の状況                                                                                  |
|------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長          | 渡邊 要 | 不動産事業部長<br>日東運輸倉庫株式会社 代表取締役<br>営業本部長<br>丸菱肥料株式会社 代表取締役<br>新東化学工業株式会社 代表取締役<br>中日本肥料株式会社 代表取締役 |
| 常務取締役            | 水谷 勇 |                                                                                               |
| 常務取締役            | 川邊宣文 |                                                                                               |
| 常務取締役            | 後藤正幸 | 管理本部長                                                                                         |
| 取締役              | 武田 聡 | 総務部長                                                                                          |
| 取締役              | 小田達也 | 製造本部長                                                                                         |
| 取締役<br>(常勤監査等委員) | 宮下英二 | アタックス税理士法人 代表社員国際部部長<br><br>辻巻総合法律事務所 弁護士                                                     |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 森川利政 |                                                                                               |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 伊藤彰夫 |                                                                                               |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 岩田香織 |                                                                                               |

- (注) 1. 取締役宮下英二氏、伊藤彰夫氏及び岩田香織氏は社外取締役であり、また、当社は各氏を東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。
2. 監査等委員宮下英二氏は、長年にわたる上場事業会社管理部門での指導的な立場で豊富な業務経験を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
3. 監査等委員伊藤彰夫氏は、公認会計士及び税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。なお、同氏が兼職している他の法人等と当社との間には、重要な関係はありません。
4. 監査等委員岩田香織氏が兼職している他の法人等と当社との間には、重要な関係はありません。
5. 日常的な情報収集、社内の重要会議への出席、内部監査室との連携を密にしていくことで、監査・監督機能をより強化するため宮下英二氏を常勤の監査等委員に選定しております。

#### (2) 責任限定契約の内容の概要

当社は、取締役（業務執行取締役等であるものを除く。）全員との間で、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく限度額は、法令が定める最低責任限度額としております。

### (3) 取締役の報酬等の額

取締役  
(監査等委員を除く) 7名 105,076千円

取締役  
(監査等委員) 5名 18,547千円 (うち社外取締役 4名 17,232千円)

- (注) 1. 上記の取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人給与相当額18,000千円は含まれておりません。
2. 上記の報酬等の額には、当事業年度に係る役員退職慰労引当金繰入額3,904千円を含んでおります。
3. 取締役(監査等委員を除く)の報酬限度額は、2015年12月18日開催の第64回定時株主総会において年額200,000千円以内と決議いただいております。(使用人兼務取締役の使用人としての給与は含みません。)
4. 取締役(監査等委員)の報酬限度額は、2015年12月18日開催の第64回定時株主総会において年額24,000千円以内と決議いただいております。
5. 上記のほか、第66回定時株主総会の決議に基づき、退任した取締役(監査等委員を除く)1名に対し4,600千円、監査等委員である取締役(社外取締役)1名に対し4,280千円の退職慰労金を支給しております。

### (4) 社外役員に関する事項

#### ① 重要な兼職の状況等

重要な兼職の状況等につきましては22頁に記載のとおりであります。

#### ② 当事業年度における主な活動状況

| 地位               | 氏名   | 主な活動状況                                                 |
|------------------|------|--------------------------------------------------------|
| 取締役<br>(常勤監査等委員) | 宮下英二 | 就任後開催の取締役会10回及び監査等委員会10回のすべてに出席し、幅広い見識から適宜発言を行っております。  |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 伊藤彰夫 | 当事業年度開催の取締役会12回及び監査等委員会12回の全てに出席し、幅広い見識から適宜発言を行っております。 |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 岩田香織 | 当事業年度開催の取締役会12回及び監査等委員会12回の全てに出席し、幅広い見識から適宜発言を行っております。 |

- (注) 上記の取締役会の回数のほか、会社法第370条及び当社定款第27条の規定に基づき、取締役会の決議があったものとみなす書面決議が2回ありました。

#### 4. 会計監査人に関する事項

(1) 会計監査人の名称 有限責任監査法人トーマツ

#### (2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

① 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額 28,940千円

② 当社及び子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額  
28,940千円

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、①の金額にはこれらの合計額を記載しております。

#### (3) 会計監査人の報酬等に監査等委員会が同意した理由

当社監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、職務執行状況及び報酬見積りの算出根拠・算定内容について、その適切性・妥当性を会計監査人から必要な資料の入手や聴取を通じて検討した結果、会計監査人の報酬等につき、会社法第399条第1項の同意を行っております。

#### (4) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

#### (5) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査等委員の全員の同意により会計監査人を解任する方針です。

この場合、解任後最初に招集される株主総会におきまして、監査等委員会が選定した監査等委員から、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告する方針です。

また、監査等委員会は、会計監査人の業務執行状況その他諸般の事情を総合的に勘案し、職務を適切に遂行する事が困難であると判断した場合は、会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定し、株主総会に提出いたします。

## 5. 会社の体制及び方針

### (1) 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制

当社が業務の適正を確保するための体制として決議した内部統制システムの基本方針は、以下のとおりであります。以下監査等委員である取締役を監査等委員、それ以外の取締役を取締役と記載いたします。

#### ① 取締役・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

当社は業務執行全般について、各業務に関する管理規程を設け、これを内部監査により補完してコンプライアンスの確保に努め、金融商品取引法に対応するため内部統制監査を実施しております。

取締役会及び経営会議など社長を議長とする重要会議において、コンプライアンス及びリスク管理に関する案件を審議することにより取締役全体の意識を高めたうえ、各取締役が統括する部門においてはコンプライアンス・ガイドラインやコンプライアンスの研修を通して、所属する当社グループの構成員の啓発に努めるとともに、報告・連絡・相談励行規程などにより情報を共有しております。また当社グループにおける問題の相談窓口は内部通報制度運用規程で社内は経営企画部または監査等委員会、社外は弁護士事務所としております。

#### ② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

当社は、リスク管理規程を定め、リスクの管理体制を整備したうえ、リスクの予防またはリスクが発生した場合の損失の最小化を図っております。

製造に関しては、創業から間もなく伊勢湾台風という大災害に被災した経験から、リスクの分散を図るため、関東、北海道へと拠点を設け全国3工場体制を取り、各工場ともに、名古屋には本社機能を有し、千葉、室蘭には各支店を併設して、工場と事務管理、営業の機能が緊密なあらゆる問題に機動的に対応できる体制としております。また、各工場における環境面、安全衛生面につきましては本社製造本部が統括したうえ、各工場の安全管理者、衛生管理者が安全衛生の業務に就き、毎月開催する安全衛生委員会において、問題点の改善に努力するとともに、事故に際しては、関係者よりレポートを提出させ、全工場へ回覧及び必要な措置を講ずるなど再発の防止に努めております。

情報システムにつきましても、当社グループ全体のシステム一式を当社の室蘭支店にてバックアップすることで、災害時の迅速な代替稼働が可能となっております。経理面につきましては、各部門による自律的な管理を基本としつつも、当社の経理部がグループ全体の管理を実施しております。なお、有事の際は、緊急事態対応措置規程より社長を統括責任者とする緊急対策本部を設置して危機管理に当たることとしております。

③ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は、定例の取締役会を毎月1回開催して重要事項を決定し、併せて取締役の業務執行状況を報告させることにより相互の監督等を実施しております。

取締役会の機能をより強化し経営効率の向上を図るため、社長以下業務執行取締役及び次席者、常勤の監査等委員、子会社取締役をメンバーとする経営会議を毎月開催し、リスク管理、経営計画の予実管理、業務執行の基本的事項に係る意思決定を機動的に実施し、重要な案件について十分に審議しております。

業務の運営については、将来の事業環境を見据えた年度予算を策定し、当社グループ全体の目標を設定のうえ各社において、その目標達成に向け具体策を立案し実行しております。

④ 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

当社は情報セキュリティ管理規程を制定しており、当社グループの保有する情報資産については、個人用パソコンの社内持込みを禁止したうえ、パソコン監視ソフトによるログ監視やウイルス対策ソフトを常に最新のものに更新するなど、機密情報の漏洩防止対策を行っております。また、機密保持に関する誓約書を当社グループ構成員全員から取得しております。なお、個人情報の管理については、個人情報保護規程を制定し、個人情報の保護に努めており、文書に関しては文書管理規程に基づき保存及び廃棄をしております。

⑤ 当社企業グループにおける業務の適正を確保するための体制

当社は、当社グループを構成する各社の社長及び実務担当者を構成員とし、当社社長を議長とする関係会社社長連絡会議や子会社の取締役会を毎月開催し、経営状況の報告と懸案事項の検討を実施しております。また、関係会社管理部署を経営企画部と定め、各社における業務執行状況の報告を求め、重要事項については稟議書を提出して当社社長の決裁を得させるものとし、当社の取締役会に毎月の状況を報告して必要事項を承認のうえ、定期的に内部監査を実施することによりその適正を確保するなど、グループ各社において、法令遵守及びリスク管理の内部管理体制を構築しております。

⑥ 監査等委員会の職務を補助すべき使用人

監査等委員会の職務を補助すべき使用人が必要なときは、監査等委員会の業務補助のため独立性を確保したスタッフを置くものとし、その人事については取締役と監査等委員会が意見を交換することとしております。

当該使用人は、監査等委員会の指揮命令下で職務を遂行し、取締役は当該使用人の職務の執行を不当に妨げないこととしております。

- ⑦ 監査等委員の職務の執行について生ずる費用の前払または償還の手続その他の当該職務の費用または債務の処理の方針に関する事項

当社は、監査等委員が職務の執行について生ずる費用の前払または償還等の請求をしたときは、当該請求に係る費用または債務が監査等委員の職務に必要なでないと認められるものを除き、速やかに当該請求に応じることとしております。

- ⑧ 監査等委員会への報告体制及びその他監査等委員会の監査が実効的に行われることを確保するための体制

当社グループの取締役及び使用人等は、当社グループに著しい損害を及ぼす恐れのある事実を発見したときは、法令に従い直ちに監査等委員会に報告します。また、その報告をしたことによって不利益な取扱いを受けないことを規定しております。

常勤監査等委員は、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、経営会議、関係会社社長連絡会議など重要な会議に出席するとともに、主要な稟議書その他業務執行に関する重要な文書を閲覧し、必要に応じて当社グループの取締役または使用人等に説明を求めています。

更に監査等委員会は、定期的に当社社長と意見交換会を実施するとともに、当社会計監査人であります有限責任監査法人トーマツから会計監査の内容について説明を受け、情報を交換するなどの連携を図るとともに、有限責任監査法人トーマツ及び内部監査部門との三様監査での情報交換を行い、常に連絡を密にし、監査の実効を上げるべく努めております。

- ⑨ 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその体制

反社会的勢力排除の体制については、反社会的勢力対応規程により反社会的勢力に対し利益供与を排するなどいかなる関係も持たないことを明確にし、情報収集に努め毅然とした態度により対応することとしております。反社会的勢力への対応部署は経営企画部とし、総務部や警察を含む外部専門機関とも連携して組織的に対応しております。

当社グループが反社会的勢力との取引を未然に防ぐため、反社会的勢力対応規程及びマニュアルより取引開始前に取引先が反社会的勢力でないかの確認をしております。また万が一反社会的勢力であったと判明した場合に直ちに契約を解除できるよう契約書に「反社会的勢力との関係排除、契約解除」事項の明記、または「反社会的勢力排除に関する覚書」の締結を推進しております。

## (2) 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

当社グループではコンプライアンス・ガイドラインを全員に所持させ、コンプライアンス勉強会を定期的に実施するとともに、コンプライアンス委員会で推進策や違反行為の再発防止策を審議するなどにより、コンプライアンス・ガイドラインの確実な遵守を推進しております。また、反社会的勢力の排除に向けては実際の対応マニュアルを整備しており、当社グループとして組織的な対応を周知徹底しております。

自然災害時など緊急時の対策としては、定期的に避難訓練を実施したうえ、サバイバルカードを全員に配布し、災害時の対応を周知徹底しております。また、情報システムについては停電時の対応として予備電源によるシステム起動や、バックアップシステムへの切替テストを実施しております。

当社グループの内部統制システム全般の構築・運用状況の監督及び実効性確保のための改善を、取締役会が実施し、内部監査室がモニタリングしております。

また、当社グループのガバナンスをモニタリングするCSRガバナンス会議や、ガバナンス状況を適切に把握できるよう関係者が情報共有するためのCSR連絡会を設置し、企業の社会的責任を果たすよう努めております。

加えて、リスク対応委員会の設置により、潜在的リスクの洗い出しや経営会議への提言を行い、当社グループがリスクに対して適切に対応できるように努めております。

## (3) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項について、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議により定めることができる旨を定款に定めております。

剰余金の配当については、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置付けており、将来の事業展開と経営体質の強化のために内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

当事業年度の期末配当につきましては、2018年11月21日開催の取締役会において、1株につき11円と決議しております。これにより、1株当たり年間配当金は、中間配当11円とあわせて22円となります。

## ■ 連結計算書類

### 連結貸借対照表 (2018年9月30日現在)

(単位：千円)

| 科目              | 金額                | 科目                 | 金額                |
|-----------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| (資産の部)          |                   | (負債の部)             |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>25,961,965</b> | <b>流動負債</b>        | <b>3,067,054</b>  |
| 現金及び預金          | 15,246,327        | 支払手形及び買掛金          | 1,450,327         |
| 受取手形及び売掛金       | 4,508,331         | 未払金                | 648,590           |
| 有価証券            | 1,000,000         | 未払法人税等             | 123,678           |
| 商品及び製品          | 2,418,933         | 未払消費税等             | 58,899            |
| 仕掛品             | 266,174           | 賞与引当金              | 245,155           |
| 原材料及び貯蔵品        | 2,254,125         | 繰延税金負債             | 1,193             |
| 繰延税金資産          | 143,584           | その他                | 539,209           |
| その他             | 124,545           | <b>固定負債</b>        | <b>1,335,671</b>  |
| 貸倒引当金           | △56               | 繰延税金負債             | 407,080           |
| <b>固定資産</b>     | <b>18,924,983</b> | 退職給付に係る負債          | 99,233            |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>16,046,120</b> | 役員退職慰労引当金          | 34,267            |
| 建物及び構築物         | 3,317,857         | その他                | 795,090           |
| 機械装置及び運搬具       | 700,387           | <b>負債合計</b>        | <b>4,402,725</b>  |
| 土地              | 11,691,048        | <b>(純資産の部)</b>     |                   |
| 建設仮勘定           | 280,921           | <b>株主資本</b>        | <b>39,893,741</b> |
| その他             | 55,904            | 資本金                | 7,410,675         |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>43,880</b>     | 資本剰余金              | 9,100,755         |
| 借地権             | 2,314             | 利益剰余金              | 25,510,290        |
| 鉱業権             | 27,303            | 自己株式               | △2,127,979        |
| その他             | 14,262            | <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>590,482</b>    |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>2,834,983</b>  | その他有価証券評価差額金       | 650,115           |
| 投資有価証券          | 2,239,451         | 退職給付に係る調整累計額       | △59,633           |
| 長期前払費用          | 235,515           | <b>純資産合計</b>       | <b>40,484,223</b> |
| 繰延税金資産          | 16,160            | <b>負債及び純資産合計</b>   | <b>44,886,949</b> |
| その他             | 343,856           |                    |                   |
| <b>資産合計</b>     | <b>44,886,949</b> |                    |                   |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

**連結損益計算書**（2017年10月1日から2018年9月30日まで）

（単位：千円）

| 科目              | 金額      |            |
|-----------------|---------|------------|
| 売上高             |         | 16,433,258 |
| 売上原価            |         | 13,017,859 |
| 売上総利益           |         | 3,415,398  |
| 販売費及び一般管理費      |         | 2,165,346  |
| 営業利益            |         | 1,250,052  |
| 営業外収益           |         |            |
| 受取利息及び配当金       | 46,697  |            |
| 持分法による投資利益      | 65,108  |            |
| デリバティブ評価益       | 46,349  |            |
| その他             | 70,755  | 228,911    |
| 営業外費用           |         |            |
| 支払利息            | 1,223   |            |
| 固定資産廃棄損         | 11,184  |            |
| 為替差損            | 90,589  |            |
| その他             | 5,895   | 108,894    |
| 経常利益            |         | 1,370,069  |
| 特別利益            |         |            |
| 固定資産売却益         | 68,317  | 68,317     |
| 税金等調整前当期純利益     |         | 1,438,387  |
| 法人税、住民税及び事業税    | 367,895 |            |
| 法人税等調整額         | 83,706  | 451,601    |
| 当期純利益           |         | 986,785    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |         | 986,785    |

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結計算書類

### 連結株主資本等変動計算書 (2017年10月1日から2018年9月30日まで)

(単位：千円)

|                                | 株主資本      |           |            |            |            |
|--------------------------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
|                                | 資本金       | 資本剰余金     | 利益剰余金      | 自己株式       | 株主資本合計     |
| 2017年10月1日残高                   | 7,410,675 | 9,100,755 | 25,076,392 | △2,127,978 | 39,459,844 |
| 連結会計年度中の変動額                    |           |           |            |            |            |
| 剰余金の配当                         |           |           | △552,887   |            | △552,887   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益                |           |           | 986,785    |            | 986,785    |
| 自己株式の取得                        |           |           |            | △0         | △0         |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額 (純額) |           |           |            |            |            |
| 連結会計年度中の変動額合計                  | —         | —         | 433,897    | △0         | 433,896    |
| 2018年9月30日残高                   | 7,410,675 | 9,100,755 | 25,510,290 | △2,127,979 | 39,893,741 |

(単位：千円)

|                                | その他の包括利益累計額      |                  |                   | 純資産合計      |
|--------------------------------|------------------|------------------|-------------------|------------|
|                                | その他有価証券<br>評価差額金 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括利益<br>累計額合計 |            |
| 2017年10月1日残高                   | 512,772          | △66,363          | 446,409           | 39,906,253 |
| 連結会計年度中の変動額                    |                  |                  |                   |            |
| 剰余金の配当                         |                  |                  |                   | △552,887   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益                |                  |                  |                   | 986,785    |
| 自己株式の取得                        |                  |                  |                   | △0         |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額 (純額) | 137,343          | 6,729            | 144,072           | 144,072    |
| 連結会計年度中の変動額合計                  | 137,343          | 6,729            | 144,072           | 577,969    |
| 2018年9月30日残高                   | 650,115          | △59,633          | 590,482           | 40,484,223 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

**(連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項等)**

## 1. 連結の範囲に関する事項

## (1) 連結子会社の数及び連結子会社の名称

協同肥料(株)、北海道肥料(株)、中日本肥料(株)、丸菱肥料(株)、新東化学工業(株)、中菱肥料(株)、日東運輸倉庫(株)、名京倉庫(株)、明京商事(株)及び(有)興農社の10社であります。

## (2) 非連結子会社の名称等

非連結子会社はありません。

## 2. 持分法の適用に関する事項

関連会社は全て持分法を適用しております。当該持分法適用会社は菱東肥料(株)、太陽肥料(株)及び(株)イシカワの3社であります。

## 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

全ての連結子会社の事業年度の末日は連結決算日と一致しております。

## 4. 会計方針に関する事項

## (1) 資産の評価基準及び評価方法

## ① 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの …………… 期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの …………… 移動平均法による原価法

## ② デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ …………… 時価法

## ③ たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、製品、原材料及び仕掛品 …… 総平均法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

貯蔵品 …………… 最終仕入原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

## (2) 固定資産の減価償却の方法

## ① 有形固定資産 (リース資産を除く)

定率法

ただし、1998年4月1日以降取得の建物 (建物附属設備を除く) 並びに2016年4月1日以降取得の建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、主な科目の耐用年数は、建物及び構築物が8～50年、機械装置及び運搬具が2～17年であります。

## ② 無形固定資産 (リース資産を除く)

定額法

### ③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

### (3) 引当金の計上基準

#### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### ② 賞与引当金

従業員の賞与の支払いに備えるため、支給見込額を計上しております。

#### ③ 役員退職慰労引当金

当社は、2017年12月22日開催の第66回定時株主総会において、役員退職慰労金制度を廃止するとともに、当該廃止に伴う打切り支給（支給時期は各取締役（監査等委員である取締役を除く）及び各監査等委員である取締役の退任時）を決議いたしました。これに伴い、当社の役員退職慰労引当金全額を取り崩し、打切り支給に伴う未払金223,675千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。なお、一部の連結子会社については、役員退職慰労金制度が存続しており、役員の退職慰労金の支払いに備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

### (4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権・債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

### (5) その他連結計算書類作成のための重要な事項

#### ① 退職給付に係る会計処理の方法

##### ・退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

##### ・数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。

##### ・小規模企業等における簡便法の採用

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

#### ② 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

**(連結貸借対照表に関する注記)**

有形固定資産の減価償却累計額

|           |              |
|-----------|--------------|
| 建物及び構築物   | 10,497,052千円 |
| 機械装置及び運搬具 | 5,862,959    |
| その他       | 324,681      |
| 合計        | 16,684,693   |

**(連結株主資本等変動計算書に関する注記)**

1. 当連結会計年度の末日における発行済株式の総数

普通株式 29,201,735株

2. 当連結会計年度中に行った剰余金の配当に関する事項

| 決議                  | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり配当額<br>(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 2017年11月14日<br>取締役会 | 普通株式  | 276,443        | 11.00           | 2017年9月30日 | 2017年12月6日 |
| 2018年4月27日<br>取締役会  | 普通株式  | 276,443        | 11.00           | 2018年3月31日 | 2018年6月1日  |

3. 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| 決議                  | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額 (円) | 基準日        | 効力発生日      |
|---------------------|-------|-------|----------------|------------------|------------|------------|
| 2018年11月21日<br>取締役会 | 普通株式  | 利益剰余金 | 276,443        | 11.00            | 2018年9月30日 | 2018年12月6日 |

### （金融商品に関する注記）

#### 1. 金融商品の状況に関する事項

##### （1）金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については安全性の高い金融商品による運用に限定し、資金調達については輸入取引に係る短期的な資金を連結子会社が銀行借入により調達しております。デリバティブ取引は、商品及び原材料の輸入に係る外貨建債務の為替変動リスク等をヘッジするために利用しており、短期的な売買差益を獲得する目的（トレーディング目的）や投機的な取引は行っておりません。

##### （2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクにさらされております。当該リスクに関しては、取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、各営業部門は取引先の信用状態に関する情報を収集して、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

有価証券及び投資有価証券は、主として、業務上の関係を有する企業の株式や、一時的な資金を運用するための債券、金銭信託及び投資信託であり、市場価格の変動リスク及び信用リスクにさらされております。当該リスクに関しては、有価証券取扱規程における有価証券売買管理細則に従い、資金運用目的の株式を取得しないとともに、定期的に保有銘柄の時価や発行体の財務状況等を把握し、また、株式については取引先企業との関係を勘案して保有状況を継続的に見直しております。

営業債務である支払手形及び買掛金、未払金はそのほとんどが6ヶ月以内の支払期日であります。買掛金の一部には商品及び原材料の輸入に伴う外貨建のものがあり、為替変動リスクにさらされております。当該リスクに関しては、デリバティブ取引を利用して将来の為替変動により円貨での支払額が増加するリスクをヘッジしております。また、営業債務の流動性リスクの管理は、当社グループ各社が月次で資金繰計画を作成するなどの方法により行っております。

デリバティブ取引は、主として、外貨建債務及び外貨建予定取引の為替変動リスクに対するヘッジを目的とした先物為替予約取引、通貨オプション取引及びクワンスワップ取引であります。デリバティブ取引の実行及びリスク管理は、デリバティブ取引管理規程に基づき行っております。なお、デリバティブ取引については、実需の範囲内とし、投機的な取引は行っておりません。また、デリバティブ取引の契約先は、信用度の高い大手金融機関であるため、相手方の契約不履行による信用リスクはほとんどないと認識しております。

##### （3）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2018年9月30日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を算定することが極めて困難と認められるものは、次表に含めておりません((注2)参照)。

|                  | 連結貸借対照表<br>計上額<br>(千円) | 時価<br>(千円) | 差額<br>(千円) |
|------------------|------------------------|------------|------------|
| (1) 現金及び預金       | 15,246,327             | 15,246,327 | —          |
| (2) 受取手形及び売掛金    | 4,508,331              | 4,508,331  | —          |
| (3) 有価証券及び投資有価証券 | 2,401,892              | 2,401,892  | —          |
| 資産計              | 22,156,550             | 22,156,550 | —          |
| (4) 支払手形及び買掛金    | 1,450,327              | 1,450,327  | —          |
| (5) 未払金          | 648,590                | 648,590    | —          |
| (6) 未払法人税等       | 123,678                | 123,678    | —          |
| (7) 未払消費税等       | 58,899                 | 58,899     | —          |
| 負債計              | 2,281,496              | 2,281,496  | —          |
| デリバティブ取引(※)      | 2,976                  | 2,976      | —          |

(※) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で示しており、合計で正味の債務となる項目については( )で示しております。

### (注1) 金融商品の時価の算定方法

#### 資産

#### (1) 現金及び預金、(2) 受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

#### (3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

#### 負債

#### (4) 支払手形及び買掛金、(5) 未払金、(6) 未払法人税等、(7) 未払消費税等

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

#### デリバティブ取引

取引金融機関から提示された価格を時価としております。

(注2) 非上場株式(連結貸借対照表計上額837,559千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(3) 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

## ■ 連結計算書類

### (賃貸等不動産に関する注記)

当社及び一部の連結子会社では、愛知県、岐阜県その他の地域において、賃貸収益を得ることを目的として賃貸オフィスビルや賃貸商業施設等を保有しております。なお、賃貸倉庫の一部については、連結子会社が使用しているため、賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産としております。

これら賃貸等不動産及び賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産に関する連結貸借対照表計上額、当連結会計年度増減額及び時価は、次のとおりであります。

|                            | 連結貸借対照表計上額（千円）  |                |                | 当連結会計年度末<br>の時価<br>(千円) |
|----------------------------|-----------------|----------------|----------------|-------------------------|
|                            | 当連結会計年度<br>期首残高 | 当連結会計年度<br>増減額 | 当連結会計年度末<br>残高 |                         |
| 賃貸等不動産                     | 8,897,194       | 485,480        | 9,382,674      | 14,002,547              |
| 賃貸等不動産として使用される<br>部分を含む不動産 | 51,263          | △1,471         | 49,792         | 231,654                 |

- (注) 1. 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。
2. 主な増加は、NFC金山駅前ビル建替えによる建設仮勘定（108,270千円）及び金山駐車場の自社利用から賃貸利用への変更（553,338千円）であり、減少は、減価償却費（193,853千円）であります。
3. 当連結会計年度末の時価は、主要な物件については社外の不動産鑑定士による不動産鑑定評価書に基づく金額、その他の物件については「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額（指標等を用いて調整を行ったものを含む。）であります。

また、賃貸等不動産及び賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産に関する2018年9月期における損益は、次のとおりであります。

|                            | 賃貸収益<br>(千円) | 賃貸費用<br>(千円) | 差額<br>(千円) | その他損益<br>(千円) |
|----------------------------|--------------|--------------|------------|---------------|
| 賃貸等不動産                     | 1,137,252    | 676,188      | 461,063    | 67,564        |
| 賃貸等不動産として使用される<br>部分を含む不動産 | 24,100       | 6,506        | 17,593     | 13            |

(注) 賃貸等不動産のその他損益のうち、主なものは土地の売却益（68,317千円）であります。

### (1株当たり情報に関する注記)

- 1株当たり純資産額 1,610円91銭
- 1株当たり当期純利益 39円27銭

## ■ 計算書類

## 貸借対照表 (2018年9月30日現在)

(単位：千円)

| 科目              | 金額                | 科目               | 金額                |
|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|
| (資産の部)          |                   | (負債の部)           |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>21,986,789</b> | <b>流動負債</b>      | <b>2,385,303</b>  |
| 現金及び預金          | 12,904,018        | 支払手形             | 10,140            |
| 受取手形            | 393,796           | 買掛金              | 1,305,910         |
| 売掛金             | 2,962,896         | 未払金              | 641,184           |
| 有価証券            | 1,000,000         | 未払費用             | 46,251            |
| 商品及び製品          | 1,734,791         | 未払法人税等           | 41,262            |
| 仕掛品             | 266,223           | 前受金              | 65,954            |
| 原材料及び貯蔵品        | 2,253,241         | 賞与引当金            | 201,045           |
| 前払費用            | 17,441            | その他              | 73,554            |
| 繰延税金資産          | 96,413            | <b>固定負債</b>      | <b>1,179,693</b>  |
| その他             | 357,973           | 繰延税金負債           | 387,037           |
| 貸倒引当金           | △7                | その他              | 792,655           |
| <b>固定資産</b>     | <b>17,651,269</b> | <b>負債合計</b>      | <b>3,564,997</b>  |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>15,118,012</b> | (純資産の部)          |                   |
| 建物              | 3,011,039         | <b>株主資本</b>      | <b>35,517,278</b> |
| 構築物             | 238,967           | <b>資本金</b>       | <b>7,410,675</b>  |
| 機械及び装置          | 635,622           | <b>資本剰余金</b>     | <b>9,100,755</b>  |
| 車両運搬具           | 37,871            | 資本準備金            | 9,100,600         |
| 工具器具備品          | 53,669            | その他資本剰余金         | 155               |
| 土地              | 10,859,920        | <b>利益剰余金</b>     | <b>21,133,827</b> |
| 建設仮勘定           | 280,921           | 利益準備金            | 396,033           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>39,355</b>     | その他利益剰余金         | 20,737,793        |
| 借地権             | 2,314             | 土地圧縮積立金          | 572,490           |
| 鉱業権             | 27,303            | 別途積立金            | 19,100,000        |
| ソフトウェア          | 5,202             | 繰越利益剰余金          | 1,065,303         |
| その他             | 4,534             | <b>自己株式</b>      | <b>△2,127,979</b> |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>2,493,901</b>  | <b>評価・換算差額等</b>  | <b>555,783</b>    |
| 投資有価証券          | 1,104,826         | その他有価証券評価差額金     | 555,783           |
| 関係会社株式          | 804,590           | <b>純資産合計</b>     | <b>36,073,061</b> |
| 長期前払費用          | 232,392           | <b>負債及び純資産合計</b> | <b>39,638,059</b> |
| その他             | 352,091           |                  |                   |
| <b>資産合計</b>     | <b>39,638,059</b> |                  |                   |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

**損益計算書**（2017年10月1日から2018年9月30日まで）

（単位：千円）

| 科目           | 金額      |            |
|--------------|---------|------------|
| 売上高          |         | 11,999,879 |
| 売上原価         |         | 9,541,706  |
| 売上総利益        |         | 2,458,172  |
| 販売費及び一般管理費   |         | 1,862,013  |
| 営業利益         |         | 596,158    |
| 営業外収益        |         |            |
| 受取利息及び配当金    | 291,845 |            |
| 受取手数料        | 62,400  |            |
| デリバティブ評価益    | 46,349  |            |
| その他          | 77,402  | 477,996    |
| 営業外費用        |         |            |
| 支払利息         | 142     |            |
| 固定資産廃棄損      | 11,184  |            |
| 為替差損         | 106,744 |            |
| その他          | 5,897   | 123,969    |
| 経常利益         |         | 950,186    |
| 特別利益         |         |            |
| 固定資産売却益      | 68,317  | 68,317     |
| 税引前当期純利益     |         | 1,018,504  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 193,955 |            |
| 法人税等調整額      | 77,290  | 271,245    |
| 当期純利益        |         | 747,258    |

（注） 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書 (2017年10月1日から2018年9月30日まで)

(単位：千円)

|                             | 株主資本      |           |          |         |          |            |
|-----------------------------|-----------|-----------|----------|---------|----------|------------|
|                             | 資本金       | 資本剰余金     |          | 利益剰余金   |          |            |
|                             |           | 資本準備金     | その他資本剰余金 | 利益準備金   | その他利益剰余金 |            |
|                             |           |           |          |         | 土地圧縮積立金  | 別途積立金      |
| 2017年10月1日残高                | 7,410,675 | 9,100,600 | 155      | 396,033 | 572,490  | 20,500,000 |
| 事業年度中の変動額                   |           |           |          |         |          |            |
| 剰余金の配当                      |           |           |          |         |          |            |
| 当期純利益                       |           |           |          |         |          |            |
| 自己株式の取得                     |           |           |          |         |          |            |
| 別途積立金の取崩                    |           |           |          |         |          | △1,400,000 |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額（純額） |           |           |          |         |          |            |
| 事業年度中の変動額合計                 | —         | —         | —        | —       | —        | △1,400,000 |
| 2018年9月30日残高                | 7,410,675 | 9,100,600 | 155      | 396,033 | 572,490  | 19,100,000 |

(単位：千円)

|                             | 株主資本                |            |            | 評価・換算差額等         | 純資産合計      |
|-----------------------------|---------------------|------------|------------|------------------|------------|
|                             | 利益剰余金               | 自己株式       | 株主資本合計     | その他有価証券<br>評価差額金 |            |
|                             | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 |            |            |                  |            |
| 2017年10月1日残高                | △529,067            | △2,127,978 | 35,322,908 | 420,252          | 35,743,160 |
| 事業年度中の変動額                   |                     |            |            |                  |            |
| 剰余金の配当                      | △552,887            |            | △552,887   |                  | △552,887   |
| 当期純利益                       | 747,258             |            | 747,258    |                  | 747,258    |
| 自己株式の取得                     |                     | △0         | △0         |                  | △0         |
| 別途積立金の取崩                    | 1,400,000           |            | —          |                  | —          |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額（純額） |                     |            |            | 135,530          | 135,530    |
| 事業年度中の変動額合計                 | 1,594,370           | △0         | 194,370    | 135,530          | 329,901    |
| 2018年9月30日残高                | 1,065,303           | △2,127,979 | 35,517,278 | 555,783          | 36,073,061 |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

### (注記事項)

#### 重要な会計方針

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式 ……移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの ……期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの ……移動平均法による原価法

##### (2) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ ……時価法

##### (3) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、製品、原材料及び仕掛品 ……総平均法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

貯蔵品 ……最終仕入原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産 (リース資産を除く)

定率法

ただし、1998年4月1日以降取得の建物 (建物附属設備を除く) 並びに2016年4月1日以降取得の建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、主な科目の耐用年数は、建物が8～50年、構築物が10～50年、機械及び装置が5～17年であります。

##### (2) 無形固定資産 (リース資産を除く)

定額法

##### (3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

##### (2) 賞与引当金

従業員の賞与の支払いに備えるため、支給見込額を計上しております。

### (3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

ただし、当事業年度末においては年金資産が退職給付債務を超過しているため、投資その他の資産の「その他」に前払年金費用33,680千円を含めて計上しております。

退職給付引当金及び退職給付費用の処理方法は以下のとおりです。

#### ① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

#### ② 数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

・未認識数理計算上の差異の貸借対照表における取扱いが連結貸借対照表と異なります。

### (4) 役員退職慰労引当金

当社は、2017年12月22日開催の第66回定時株主総会において、役員退職慰労金制度を廃止するとともに、当該廃止に伴う打ち切り支給（支給時期は各取締役（監査等委員である取締役を除く）及び各監査等委員である取締役の退任時）を決議いたしました。これに伴い、当社の役員退職慰労引当金全額を取り崩し、打ち切り支給に伴う未払金223,675千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

### 4. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

#### 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

**(貸借対照表に関する注記)**

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1. 関係会社に対する金銭債権債務 |             |
| 短期金銭債権            | 2,748,256千円 |
| 短期金銭債務            | 203,211     |
| 2. 有形固定資産の減価償却累計額 |             |
| 建物                | 8,504,119千円 |
| 構築物               | 1,319,863   |
| 機械及び装置            | 5,401,921   |
| 車両運搬具             | 256,597     |
| 工具器具備品            | 319,360     |
| 合計                | 15,801,862  |

**(損益計算書に関する注記)**

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 関係会社との取引高       |             |
| 売上高             | 7,808,653千円 |
| 営業費用            | 747,044     |
| 営業取引以外の取引高（収入分） | 361,854     |
| 営業取引以外の取引高（支出分） | 340         |

**(株主資本等変動計算書に関する注記)**

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 当事業年度の末日における自己株式の数 |            |
| 普通株式               | 4,070,479株 |

## (税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因

## ①流動資産

(繰延税金資産)

|           |          |
|-----------|----------|
| 賞与引当金     | 62,324千円 |
| 未払事業税     | 14,139   |
| その他       | 21,499   |
| 繰延税金資産小計  | 97,963千円 |
| 評価性引当額    | △1,550千円 |
| 繰延税金資産合計  | 96,413千円 |
| 繰延税金資産の純額 | 96,413千円 |

## ②固定負債

(繰延税金負債)

|           |              |
|-----------|--------------|
| 減損損失      | 1,980,172千円  |
| 未払役員退職慰労金 | 69,339       |
| 関係会社株式評価損 | 45,989       |
| その他       | 15,833       |
| 繰延税金資産小計  | 2,111,335千円  |
| 評価性引当額    | △1,984,694千円 |
| 繰延税金資産合計  | 126,641千円    |

(繰延税金負債)

|              |            |
|--------------|------------|
| 土地圧縮積立金      | △253,531千円 |
| その他有価証券評価差額金 | △249,706   |
| 前払年金費用       | △10,441    |
| 繰延税金負債合計     | △513,679千円 |
| 繰延税金負債の純額    | △387,037千円 |

## ■ 計算書類

### (関連当事者との取引に関する注記)

#### 1. 子会社及び関連会社等

| 種類  | 会社等の名称        | 所在地              | 資本金<br>(千円) | 事業の内容       | 議決権等の所有割合<br>(%) | 関連当事者との関係        | 取引の内容               | 取引金額<br>(千円) | 科目  | 期末残高<br>(千円) |
|-----|---------------|------------------|-------------|-------------|------------------|------------------|---------------------|--------------|-----|--------------|
| 子会社 | 中日本肥料(株)      | 名古屋市<br>市中村<br>区 | 36,500      | 肥料の<br>製造販売 | 直接<br>100        | 当社製品の販売<br>役員の兼任 | 当社製品の販売<br>(注) 1    | 1,850,026    | 売掛金 | 455,274      |
|     |               |                  |             |             |                  |                  | 販売手数料の受<br>取(注) 2   | 15,028       | —   | —            |
|     |               |                  |             |             |                  |                  | 名義手数料の支<br>払(注) 2   | 1,415        | 未払金 | 149          |
|     |               |                  |             |             |                  |                  | 事務所の賃貸<br>(注) 3     | 90           | —   | —            |
| 子会社 | 新東化学工業<br>(株) | 千葉県<br>市原市       | 11,000      | 肥料の<br>製造販売 | 直接<br>100        | 当社製品の販売<br>役員の兼任 | 当社製品の販売<br>(注) 1    | 1,607,115    | 売掛金 | 314,548      |
|     |               |                  |             |             |                  |                  | 販売手数料の受<br>取(注) 2   | 14,625       | —   | —            |
|     |               |                  |             |             |                  |                  | 名義手数料の支<br>払(注) 2   | 1,412        | 未払金 | 75           |
|     |               |                  |             |             |                  |                  | 事務所の賃貸<br>(注) 3     | 90           | —   | —            |
| 子会社 | 北海道<br>肥料(株)  | 北海道<br>室蘭市       | 310,000     | 肥料の<br>製造販売 | 直接<br>100        | 当社製品の販売<br>役員の兼任 | 当社製品の販売<br>(注) 1    | 1,826,140    | 売掛金 | 963,677      |
|     |               |                  |             |             |                  |                  | 名義手数料の支<br>払(注) 2   | 212,996      | 未払金 | 56,694       |
|     |               |                  |             |             |                  |                  | 事務所及び倉庫<br>の賃貸(注) 3 | 3,292        | —   | —            |

- (注) 1. 当社製品の販売については、2017年12月以前は一般取引先との取引価格及び当社の予定原価を勘案して販売価格を決定しておりますが、2018年1月以降は一般取引先への販売価格と同額となっております。
2. 販売手数料の受取については、2017年12月以前に子会社の販売実績に応じて一定割合の販売手数料を受け取っております。名義手数料の支払については、2018年1月以降に子会社の販売実績に応じて一定割合の名義手数料を支払っております。
3. 事務所及び倉庫の賃貸については、市場の取引価格を勘案のうえ決定しております。

2. 役員及び個人主要株主等  
該当事項はありません。

### (1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額 1,435円39銭
2. 1株当たり当期純利益 29円73銭

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書

### 独立監査人の監査報告書

2018年11月20日

日東エフシー株式会社  
取 締 役 会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 瀧 沢 宏 光 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 増 見 彰 則 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、日東エフシー株式会社の2017年10月1日から2018年9月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記について監査を行った。

#### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日東エフシー株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査人の監査報告書

独立監査人の監査報告書

2018年11月20日

日東エフシー株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 瀧 沢 宏 光 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 増 見 彰 則 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、日東エフシー株式会社の2017年10月1日から2018年9月30日までの第67期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びにその附属明細書について監査を行った。

## 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査等委員会の監査報告書

### 監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2017年10月1日から2018年9月30日までの第67期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- ①監査等委員会が定めた監査等委員会監査等基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- ②会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2018年11月21日

|            |           |
|------------|-----------|
| 日東エフシー株式会社 | 監査等委員会    |
| 常勤監査等委員    | 宮 下 英 二 ㊞ |
| 監 査 等 委 員  | 森 川 利 政 ㊞ |
| 監 査 等 委 員  | 伊 藤 彰 夫 ㊞ |
| 監 査 等 委 員  | 岩 田 香 織 ㊞ |

(注) 監査等委員 宮下英二、伊藤彰夫及び岩田香織は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上

## ■ その他

株式事務のご案内

|                      |                                                                                                                                                |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                 | 10月1日から翌年9月30日まで                                                                                                                               |
| 定時株主総会               | 毎年12月                                                                                                                                          |
| 基準日                  | 定時株主総会については9月30日といたします。<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。                                                                                          |
| 配当金受領株主<br>確定日       | 〈期末配当金〉 9月30日<br>〈中間配当金〉 3月31日                                                                                                                 |
| 株主名簿管理人兼<br>特別口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社                                                                                                              |
| 同事務取扱場所              | 〒460-8685<br>名古屋市中区栄三丁目15番33号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                            |
| 郵便物送付先               | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                             |
| 公告掲載方法               | 電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。<br>ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。<br><a href="http://www.nittofc.co.jp/">http://www.nittofc.co.jp/</a> |

■ 決議ご通知について

当社は環境保全に努め、省資源化を推進しております。その一環として、定時株主総会終了後に株主の皆様へ郵送にてお届けしておりました「定時株主総会決議ご通知」を、下記当社ウェブサイトの掲載によりご提供することといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

<http://www.nittofc.co.jp/>

以 上

# 経営理念

## 地球にやさしく生命を支える

肥料は、作物の生命を支え人類の生命を支える食糧生産の基盤であり、さまざまな未利用資源を有効活用する地球にやさしい存在です。この肥料生産を使命とする基本理念は、当社の事業を支える基礎であり、新たな事業に取り組む場合にも理念の方向性は変わりません。

## 事業を通じて真の幸福を追求する

違法行為や無法な取引により利益を得たとしても幸福は得られません。品質にこだわり効率を追求し、顧客、取引先、従業員、株主がともに繁栄する事業を目指す事が、真の幸福を追求する事につながります。

## 深く考え果断に実行する

理念の実現には実行が必要です。ただし、経営理念に適しているか、関係法令や社内規定に照らして適正かどうかなど行動の前に考える事も必要です。そして、結論が出たら果断に実行して速やかな成果の実現に努めます。



## 株主総会 会場のご案内

日 時

2018年12月21日(金曜日)  
午前10時

会 場

金山プラザホテル  
名古屋金山研修センター・ゼミナールプラザ  
4階会議室

愛知県名古屋市中区正木三丁目7番15号  
052-331-6411



交通のご案内

JR・名鉄・地下鉄  
金山総合駅

北 口

徒歩約7分

金山プラザホテル

※当日、金山プラザホテルの専用駐車場は工事のためご利用いただけません。

近隣駐車場への誘導もできかねますので、お車でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。



見やすい  
ユニバーサル  
デザインフォントを  
採用しています。

